平成29年度 施政方針

はじめに

私が南風原町の舵取りを任されてから19回目の春を迎えようとしています。思い返せばこれまでも多くの困難を乗り越え、その過程で得たものを活かしながら新たな時代を切り開いてまいりました。

就任以来一貫して「子どもたちには愛を、若者には夢と希望を、お年寄りには安らぎを」自らの信条とし、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、みんなにとって「住み良いわくわくするまち南風原町」をつくるため、協働のまちづくりを推進してまいりました。これまでの町政運営に対し町民及び議員各位のご理解、ご協力に衷心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い致します。そして本年度においても、初心を忘れることなく将来にわたり、活気に満ちあふれ魅力的な南風原町であり続けるよう、私たちの子や孫、その先の輝かしい未来を見据えながら、全身全霊で取り組んでいく所存であります。

それでは、平成29年度に実施する施策について、その骨子を申し述べます。

■^{こがねはえ}ともにつくる黄金南風^{さと}の平和郷について

「第五次南風原町総合計画」の策定時には、公募でお集まり頂いた住民会議のみなさんに大変お世話になり感謝申し上げます。地域社会への愛着と誇りを持って暮らす町民のみなさんが、個々の思いを表し意見を交わし、夢や目標を実現していくことを目指して、総合計画の素案づくりを町民と職員の協働で進めてまいりました。

引き続き、将来像についても「ともにつくる黄金南風の平和郷」を掲げ、世界の恒久「平和」を願う町民の心を内外へ発信する平和行政に取り組んでいくとともに、新たな時代の潮流の中で、「自立」できる活力、地域力のあるまちづくり、そして、まちの様相が移り変わる中で改めて自然との調和、人と人のつながりを大切に「共生」した暮らしを再生・創造していくまちづくりをめざしてまいります。

■みんなで考え、みんなで創るわくわくするまちについて

協働のまちづくりを推進するため、多様な学びの場をとおして町民一人ひとりがともに考え、助け合い、支え合って創意と工夫で地域力を高め積極的にまちづくりに参画できるよう取り組んでまいります。そのためにも地域活動の現状と課題を意識し、自治会との連携を図って

いきます。

町民と行政の情報共有については、広報誌をはじめ町ホームページや電光掲示板等あらゆる手法を活用し、わかりやすく的確な情報発信を推進していきます。また、各種委員会等への住民参画を促し、引き続き町民のみなさんのご意見が町政に最大限に反映される仕組みづくりを行っていきます。

■きらきらと輝く人が育つまちについて

子どもたちの「生きる力」と主体的な行動を育てていくために、「家庭教育」、「ふるさと教育」、「学校教育」を通じて、自ら考え、決め、行動できる人づくり、人と人のつながりを育む環境づくりを家庭と学校、地域が一丸となって取り組んでいきます。

幼稚園教育、保育については今年度も引き続き幼稚園・保育所が連携して子育て支援、教育環境の充実を図るため、専任園長、保育時間の延長、給食提供、土曜日・夏休み等長期休暇期間の預かり保育に加え、4歳児保育を受け入れ可能な人数で最大限に実施し、より一層の幼稚園教育及び保育の充実を図ってまいります。また、前年度より事業開始した「幼稚園体育活動充実事業」も実施します。

学校給食については、安全・安心な給食を提供し、健康づくりに努め、食育を推進してまいります。

中央公民館、文化センター・沖縄陸軍病院南風原壕群を、文化活動・平和学習・交流・観光の拠点として、充実強化を図り、観光関連事業と連携し事業を推進してまいります。

「青少年の国際交流」は、中学生をカナダへ派遣します。また、引き続き海外移住者子弟を受入れ交流を図ります。

スポーツ振興として、黄金森公園施設を活用しての、スポーツキャンプ誘致等を図るとともに、スポーツに関する技術力・意識の向上に取り組んでまいります。

また、沖縄振興特別推進交付金（一括交付金）を活用して、「学習支援員」・「特別支援教育支援員」の配置事業、「学校ICT推進事業」、「北丘小学校西側避難通路整備事業」、「子ども平和交流事業」、「伝統芸能保存育成事業」、「県外等派遣助成事業」等を引き続き実施してまいります。

■ちむぐるでつくる福祉と健康のまちについて

今年の1月1日から実施している、こども医療費の現物給付につきましては、子育てをしている保護者から高い評価を得ているところです。この事業は子育て世代の支援や子どもの貧困対策と併せて病気の早期発見、早期治療を促し、長期的に見た医療費の抑制も視野に入れて取り組んでおり、今後も引き続き実施してまいります。

保育所入所に係る待機児童対策については、弾力化及び認可保育園の新設2園や増改築、小規模保育、認可外保育園の認可化移行等に取り組み、受入可能人数を拡大してまいります。子どもの貧困連鎖の打破に向けては、引き続き子ども元気支援員2人の配置と、居場所となる子ども元気ROOM2カ所を設置し、支援が必要な子どもをしっかりと支え、子どもたちが夢と希望を持って成長していけるよう取り組みを推進してまいります。

消費税率の引き上げに際し、低所得者に対する適切な配慮を行うため、臨時福祉給付金として、平成28年度町民税が課税されていない方一人につき1万5千円の給付金を支給いたします。

町民の健康づくりについては、妊娠期から高齢期まで生涯にわたる健康づくりへの支援を推進してまいります。その取り組みの一つとして一括交付金を活用し、学童期における生活習慣病予防の取り組みを継続してまいります。

高齢者福祉と障がい者福祉については、第五次総合計画に基づき、地域のニーズを踏まえ「第8次南風原町高齢者保健福祉計画」、「第3次南風原町障がい者計画・第4期障がい福祉計画」を策定し、支援体制の強化とサービスの充実に努めてまいります。

国民健康保険事業の運営については、特定健診の受診勧奨の強化による受診率向上や特定保健指導の実施率の向上に努め、生活習慣病の早期発見や重症化予防を図り、後発医薬品の活用促進等と併せて医療給付費抑制の取り

組みを強化してまいります。また、本県国保の危機的な財政状況の解決に向けては、引き続き沖縄の特殊事情に配慮した制度設計の構築等を国へ要請していくとともに、30年度からの県単一化に向け、県においても市町村国保への支援に取り組んでもらえるよう要請してまいります。

■工夫と連携で産業が躍動するまちについて

次に産業の振興についてであります。

緊急経済対策の一環として、住宅の修繕、補修、耐震補強工事へ補助を行う「南風原町緊急経済対策住宅リフォーム支援事業」を引き続き実施してまいります。

農業振興については、農地の有効活用を推進し、農地の保全や土壌改良・地力増強を促進するための土づくり奨励補助を継続します。拠点産地であるかぼちゃの増産支援のためのミツバチ巣箱設置や花粉交配用品種の導入、ビニールハウス、井戸設置の補助などの助成を実施するとともに、高生産性農業用機械施設導入事業や園芸ブランド機械整備事業の活用による生産施設の整備を促すことで、生産農家を支援し農業経営基盤の強化に努めてまいります。また、ファーマーズマーケット南風原「くがに市場」の集客力向上への支援、付加価値の高い農産物の生産や出荷体制の強化が図られるよう、関係機関との連携や病虫害、自然災害等の被害を未然に防止する対策に必要な農業用資材の購入助成と併せて、販路拡大に向

けた取組を支援することで農業経営の振興を図ってまいります。

担い手育成などにおいては、南風原町農業委員会に農地利用最適化推進委員の新設による機能強化とあわせ、JA、農地中間管理機構と連携し耕作放棄地や遊休農地を解消し、農地の確保を行うとともに青年就農給付金の給付等により、新規就農者等の農業の担い手育成に取り組んでまいります。

基幹作物であるサトウキビ振興については、病虫害対策や収穫機を活用した利用者に対する補助等による生産振興を図ります。

花き振興については、花き拠点産地協議会等の検討会を開催し、新たな品目への取り組みの強化や導入支援に努めるとともに、ストレリチア立ち枯れ対策の強化を促進してまいります。

果樹振興については、補助を活用した施設導入への取り組みや販路の拡大に努めると共に、^{ほじょう}圃場拡大・増産等を図り、果樹生産農家の経営基盤の強化に努めてまいります。

山川地区畑地かんがい事業については、畑地へのかんがい施設の整備を進め、今年度内での事業完了に向けて取り組んでまいります。

畜産振興については、生産基盤の整備と経営の安定化を図るため一括交付金などを活用した事業と併せて、家畜公害・環境保全対策事業や家畜伝染病予防事業の取り組みを推進してまいります。

中小企業小規模企業振興については、町商工会との連携強化や、町内企業の振興施策と共に、地域経済の活性化発展の促進が図られるよう「南風原町中小企業・小規模企業振興基本条例」に基づき、町内事業所との協議会等を活発化させるとともに、本町の事業所に対する振興策の充実、強化に努めてまいります。また、町内への企業誘致の促進や人材サポートセンターの取り組みを強化し、町民の雇用拡大を図ってまいります。

工芸産業振興については、本町の重要な伝統的工芸品である琉球絣・南風原花織の生産技術の向上、担い手の育成及び「地域ブランド構築・展開プロジェクト」等によるブランド化に努め、工芸品の価値を高めるための取り組みを行うとともに販路の拡大等を琉球絣組合と連携し取り組んでまいります。

観光振興については、沖縄県の重要産業であり、魅力ある観光で地域が潤うまちを目指し、観光客の誘致につながる、新たな魅力ある観光資源の創出や観光発信としてのプロモーション方法の調査・研究、観光まちづくり人材の育成に取り組んでまいります。また、観光協会と連携して観光施策推進の体制を強化し観光振興に努めてまいります。

■みどりとまちが調和した安全・安心のまちについて

急速な都市化が進展する本町にあって自然環境と共生

するまちづくりは防災や地域経済の活性化にもつながる重要な要素です。地域と協働した防災体制の強化を図り、防犯・安全体制の確立と推進を行ってまいります。

また道路事業については、町道 10 号線・町道 73 号線及び町道 5 号線の用地取得と物件補償を進めてまいります。

街路事業については、津嘉山中央線の用地取得と物件補償を進め、津嘉山中央線 2 工区は物件調査を進めてまいります。宮平学校線は国道交差点の北側における町道部分の舗装工事を行ってまいります。

公園整備事業については、津嘉山公園の遊具広場と駐車場整備を進め、黄金森公園については、陸上競技場バックスタンド後方の擁壁沿いに設置された転落防止柵フェンスの取り替え工事を行ってまいります。また、陸上競技場第 4 コーナー後方の東屋側から旧社協へ向かう木製橋園路の整備も引き続き進めてまいります。

津嘉山北土地区画整理事業については、旧津嘉山ハイツの土地が早期に利活用が図られるよう同区域と周辺の宅地造成及び区画道路の整備を進めてまいります。また、事業促進を図るため保留地処分に取り組んでまいります。

集落地内の環境整備については、大名地内の排水路整備に向けて取り組んでまいります。

下水道事業については、津嘉山北土地区画整理事業区域を重点地区とし、与那覇地区についても整備を進めてまいります。雨水整備においては、引き続き津嘉山、照屋地内の整備を進め、浸水解消を早期に図れるよう取り

組んでまいります。

公共下水道への接続促進を図るため国の補助制度を継続するとともに、併せて普及活動を強化してまいります。

農業集落排水事業では、神里地区汚水処理施設の老朽化に伴い再整備にむけた施設の機器機能診断等調査に着手します。また、普及活動についても引き続き未接続世帯への普及活動を強化促進してまいります。

南風原町らしい景観の保全・再生など、景観づくりの指針となる南風原町景観計画の策定作業を引き続き行ってまいります。また、交通安全施設整備については、本年度もカーブミラーの設置や横断防止柵の整備、既存の安全施設の修繕及び道路路面の区画線の補修を行い、交通安全対策を講じてまいります。

■環境と共生する美しく住みよいまちについて

住み良い住環境をめざした循環型社会促進のため、「はえぼる版リサイクルループ」事業を中心に、町民、NPO、企業・事業所等との連携及び情報共有によるさらなる持続と発展のため、ごみの減量化・リサイクル・分別徹底に関する普及・啓発を進め、ごみの資源化率を向上させる取り組みを推進してまいります。また、「はえぼるエコセンター」を活用した各種環境講座、次代を担う子どもたちへ学校との連携による環境学習支援事業を実施し、環境意識の高揚を図ってまいります。

町民の生活に密接した悪臭、騒音、水質汚濁、振動等の公害問題については、各関係機関と連携し生活環境の保全に努めてまいります。

沖縄の貴重な自然環境を残し、エコアイランド沖縄を目指すため、町民の具体的な活動への支援と環境意識の啓発を図ってまいります。また、「南風原町地球温暖化防止実行計画」、「南風原町地域エネルギービジョン」に基づき公共施設等の省エネ対策を進め温室効果ガスの排出抑制を積極的に推進してまいります。防犯灯については、省エネルギー設備の導入による環境負荷の少ない低炭素社会の実現を図るため、既設水銀灯・蛍光灯のLED灯への切り替え工事を引き続き実施してまいります。

ごみの不法投棄等については、町内の不法投棄発生箇所を中心にパトロールを行うとともに、立て看板等を設置し生活環境の保全に努めてまいります。

■健全な行財政運営について

社会情勢の変化や多様化する行政需要に対し、柔軟な対応をするとともに、南風原町職員人材育成方針に基づき、職員研修をはじめとする人材育成を推進します。

本町が所有するすべての公共施設等を対象に、財政負担の軽減・平準化など、地域の実情も勘案しながら、公共施設の新設・維持・管理など長期的な視点での総合的かつ計画的に管理していくための財政問題の調査・研究

を行います。また平成29年度は第三次南風原町行政改革大綱の最終計画年次であることから、引き続き徹底した新たな行財政改革の策定を進めてまいります。

■ 予算編成について

平成29年度の予算編成については、扶助費の増に向き合いながら、引き続き一括交付金の活用に工夫を凝らし、積極性を失わずに実効性を担保する経費の確保を念頭に「選択と集中」による予算編成を行っております。

今後も引き続き、子育て支援・教育の充実を図り、福祉向上、産業振興等、町民ニーズに応えた事業を実施し、「住み良いわくわくするまち南風原町」のブランド力を高めてまいります。

本年度の各会計予算編成の内訳は、

一 般 会 計	13,397,090千円
特 別 会 計	7,442,535千円
全 会 計 合 計	20,839,625千円

となっております。

おわりに

平成 29 年度より新たな取り組みと致しまして「ふるさと納税制度」を活用し、地域の活性化に資することを目的に、寄付をして頂いた方に返礼品として地域の魅力ある特産品を活用した取り組みを行います。

また、平成 29 年度は、新たな総合計画の好スタートの年度となるよう、町民一人ひとりが幸せを実感でき安全・安心して生活を営み、誰もが住んでいることを誇りに思える『住み良いわくわくするまち南風原町』の確立を目指して職員とともに創意工夫を重ね、一步一步前へ進め情熱をもって町政運営に邁進してまいります。

以上、平成 29 年度の町政運営についての考え方と主要施策の概要などについて申し述べ、私の施政方針といたします。

平成 29 年 3 月 2 日

南風原町長 城間俊安